

## 平成20年度緑化関連事業

## 1 受託事業

## (1) 国土緑化運動推進委託事業(受託費30千円)

(社)国土緑化推進機構が行う『先駆的先導的森づくりボランティア活動支援事業』の募集や進達等の事務を受託しています。

(参考)

## 先駆的先導的森づくりボランティア活動支援事業を実施している団体

篠町「町づくり推進会」長尾山部会(長尾山活用事業) 246千円(国土緑化助成額、以下同じ)

NPO森林環境ネットワーク(こどもの森づくり事業) 285千円

## 緑の募金公募事業を実施している団体

## 【一般公募事業・森林整備】

- 鴻ノ巣山を守る会(里山林の甚大なる松くい虫被害による枯木伐採及び代替苗木の育成と植栽) 200千円
- 八幡たけくらぶ(男山地域の荒廃竹林整備事業) 300千円

## 【創造的公募事業】

- 薪く炭くKYOTO(木質バイオマスの生産・利用スポットを拠点とした、グリーンコンシューマー育成と一体となったバイオマスの森づくりの促進) 3,000千円
- (特)間伐材研究所(間伐材を使った「山からのメッセージ」による「街の木づき」促進事業) 1,020千円
- 「府民の森ひよし」森林倶楽部(地球温暖化防止のための間伐及び炭焼き等間伐材の利用促進) 1,900千円

## 緑と水の森林基金公募事業を実施している団体

## 【普及啓発】

- 京都古事の森育成協議会(「京都古事の道づくり」事業)
- 豊かな森林づくりのためのレディースネットワーク21(「木とふれあい、木に学び、木と生きる」ー木育のこれからを考えるー)
- (特)音楽のまちづくり(森の中でこだまする音の調べを体感し、豊かな心を育てる音楽散歩)
- 京都モデルフォレスト運動推進シンポジウム実行委員会(京都モデルフォレスト運動2周年記念シンポジウム「以森伝心～伝えたい、森を想う人のころ～」)

## 【活動基盤整備】

- フィールドソサエティー(森林環境教育の普及のためのプログラムづくり)

## 近畿地区森づくり活動プランナー養成ブロック研修

平成21年2月5日～7日 (財)大阪みどりのトラスト協会主催の研修に2名推薦。

## 2 補助事業

### (1) 緑と水の森林基金事業(都道府県事業) (助成額3,000千円)

地球温暖化の防止、循環型社会の構築、持続可能な森林経営の推進等「国民参加の森林づくり」運動を推進するため、森林資源の整備、水資源のかん養、府内産木材の利活用等に関する普及啓発を推進するため、緑と水の森林基金の助成を受け、次の事業を実施しました。

区 分	助成額等	事業内容
森林・緑・水に対する国民の認識を深めるための普及啓発活動	千円 1,200	「森は生きている展」の開催 木工教室の開催 講習会、出前教室の実施 ほか
木材需要の拡大と古紙利用等の推進	300	木の日の展示 木工教室の開催 ホームページによる普及啓発
森林を活用した青少年の環境教育促進	1,200	京都府緑の少年団交流集会 木工、炭焼き体験学習 自然観察 ほか
小 計	2,700	
事業諸費、活動費	300	事業実施に係る事務経費
合 計	3,000	

### (2) 緑と水の森林基金事業(中央事業) (助成額2,700千円)

平成21年度に開催する緑の少年団全国大会に向け、府内の緑の少年団活動を支援し、活動の活性化を図ることを目的として、活動で使用する制服、帽子等を団員に支給しました。また、平成21年度に開催する緑の少年団全国大会に向け、関係機関との調整、必要な物品の調達等の準備を行いました。

### (3) 学校環境緑化モデル事業(事務費50千円)

ローソン株式会社からの「緑の募金」を活用して、学校環境の緑化を通じて青少年の環境教育を推進するための普及啓発を図ります。

大山崎町立大山崎小学校

(植樹、野外ステージ製作 事業費500千円 平成21年3月完了予定)

### 3 その他

#### (1) もりのくに・につぼん運動

新たな国土緑化運動の一環として、森を守り、育て、その恵みを生かして持続的に循環させていくことの重要性を広く訴え、更に森林と向き合っていく気運を醸成することを目的に、「もりのくに・につぼん運動」を展開しています。

#### ア 「森の名手・名人」100人の選定

「森づくり」「森の恵み」「加工」「森の伝承・文化」の4部門から、すぐれた技を極め、他の模範となっている達人100人を「森の名手・名人100人」として選定しています。

##### 【平成20年度認定者】

市町村	部門	生業等	氏名
京都市	森づくり	造竹林手	上田 一男
福知山市	加工	船大工	佐金 守

#### イ 森の“聞き書き甲子園”

「森の“聞き書き甲子園”」は、林野庁・文部科学省・社団法人国土緑化推進機構・NPO 法人共存の森ネットワークの4者からなる実行委員会が実施するプロジェクトで、毎年、日本全国から選ばれた100人の高校生が参加しています。

【平成20年度選定者】 京都府立北桑田高等学校2年 藤田 夏子

#### (2) 全国植樹祭・育樹祭

全国植樹祭は、国土緑化運動の中核をなす行事として昭和 25 年以来、天皇皇后両陛下の御臨席の下、全国各地からの参加を得て、両陛下によるお手植えや参加者による記念植樹等を通じて、国民の森林に対する愛情を培うことを目的に毎年開催されています。全国育樹祭は、昭和52年以来、全国各地からの参加を得て、皇太子同妃両殿下によるお手入れ（全国植樹祭において天皇皇后両陛下のお手植え・お手播きにより成長した木の枝打ち等）や参加者による育樹活動等を通じて、国民の森林に対する愛情を培うことを目的に毎年開催されています。

##### 【全国植樹祭(秋田県)及び全国育樹祭(愛媛県)】

全国植樹祭:緑化運動・育樹運動ポスターコンクール表彰 北川陽香

全国育樹祭:平成20年度ふれあいの森林づくり表彰 与保呂生産森林組合